

respon 運用モデルA

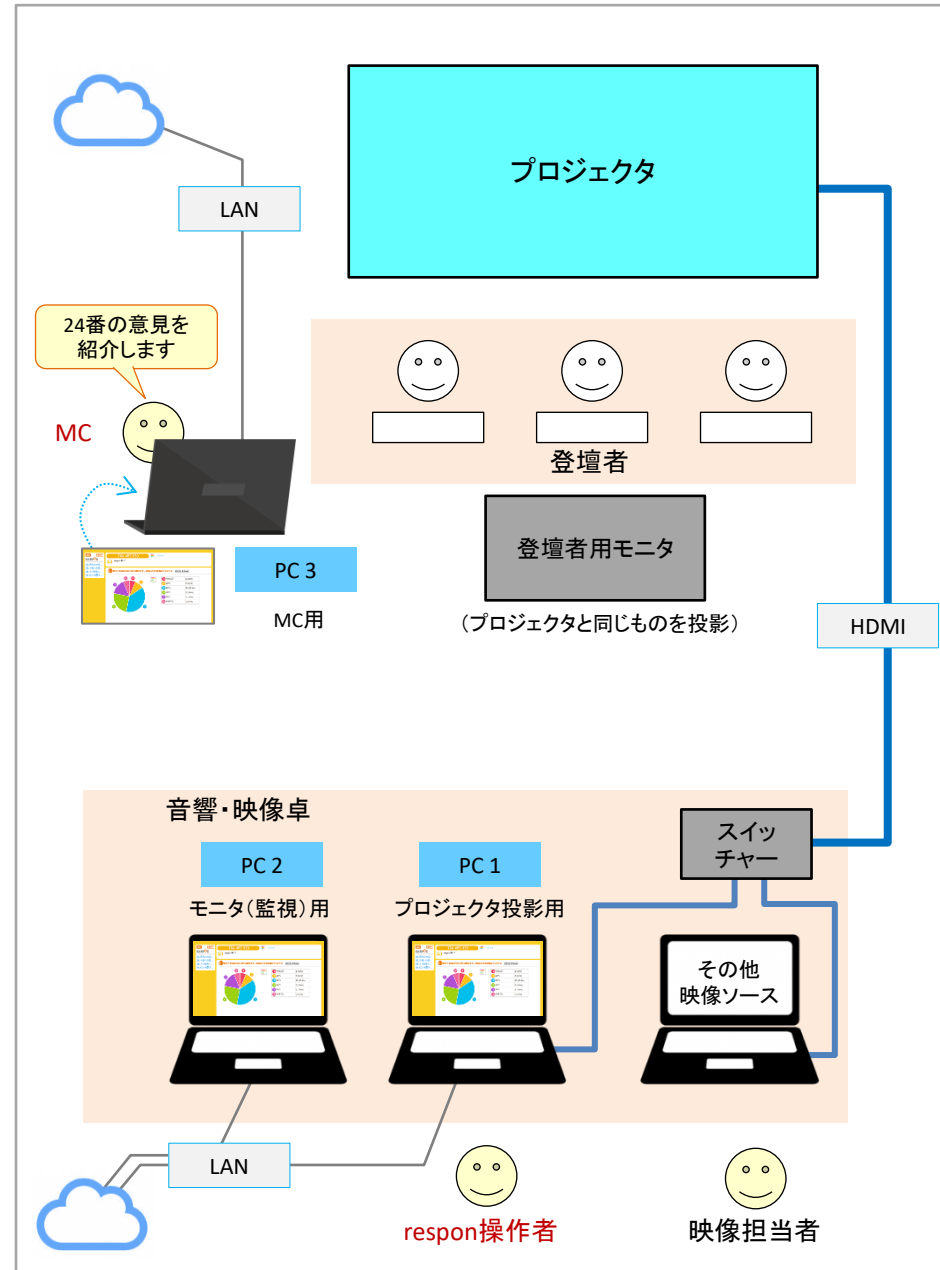
responをイベントで使う際の推奨方法。PCを3台、使用します。

- PC 1 ... プロジェクタ投影用PCです。respon操作者が使用します。QRコードの案内のスライドや、responのライブ画面を切り替えて投影します。
- PC 2 ... アンケートの提出状況などを監視します。緊急時のバックアップPCも兼ねます。
- PC 3 ... 司会用PCです。responのライブ画面を見ます。**このPCはプロジェクタに接続しません。**来場者の意見をピックアップするときは、コメント番号を必ず言ってもらいます。その番号のコメントをrespon操作者が表示をします。

なお、PC1~PC3は、会場Wi-Fi以外の接続手段でインターネット接続をします。有線LANが理想です。

- ・登壇者モニタを、省略するケースも多いです。
- ・PC2もしくはPC3をオミットして、スマホで代替する場合があります。

【参考】PC 1, PC 2 のスペックとソフトウェア
Windows 10、ハイビジョン(1920 x 1080) 出力、HDMI端子。
Google Chrome もしくは Firefox を使います。Chrome の場合は設定が必要です。
Powerpoint (QRコードスライドの表示用)



respon 運用モデルB(最小構成)

プロジェタにどんな映像が表示されても良いのであれば、1台のPCでの運用も可能です。
その場合、MCの人がresponの操作も行います。

PC 1 ... MC兼respon操作者となります。QRコードの案内のスライドや、responのライブ画面を切り替えて投影します。

PCは、有線LANが理想です。

1台ですべてを行いますので、PCのデスクトップ画面などがプロジェタに出るリスクもあります。また、操作する方はresponの操作に慣れている必要があります。

